

2005年3月16日

報道関係各位

全国17カ所で、看護師・医療スタッフ対象の「腰痛セミナー」を開催

腰痛患者さんの日常生活指導ポイント、元客室乗務員による接遇マナー教室など

ノバルティス ファーマ株式会社（代表取締役社長：馬場宣行）は、「日本の痛みを鎮めよう！腰痛セミナー」と題し、整形外科領域の看護師・医療スタッフを対象に、4月9日（土）から3カ月間にわたり全国17箇所でセミナーを開催します。全国で約5,000人の看護師・医療スタッフが本セミナーに参加する見込みです。

「日本の痛みを鎮めよう！腰痛セミナー」では、患者さんが腰痛を自己管理するための日常生活における注意点（姿勢・動作）や、代表的な治療薬に関する講義のほか、腰痛患者さんが来院した場合を想定した接遇マナー教室が行われます。

本セミナーは、ノバルティス ファーマの経皮鎮痛消炎剤「ボルタレン®テープ」の発売（2004年8月）を記念して、医療機関におけるコミュニケーションの仲介役として重要な役割を果たす看護師・医療スタッフの皆さんが、腰痛をよりよく理解し、腰痛患者さんの視点に立った対応が行えるようサポートする目的で、企画されました。



本セミナーのシンボルマーク。腰を押さえているのは、「ボルタレン®マン」

平成13年国民生活基礎調査によると、「腰痛」は、男性の自覚症状の第1位、女性では「肩こり」に続き第2位となっています。また、腰痛に関する疫学調査では、先進諸国の国民の70%以上が生涯に1度は腰痛を経験し、成人の15%～45%が毎年腰痛に悩まされることが明らかになっています。ノバルティス ファーマは、本セミナーを通じ、看護師・医療スタッフの皆さんが適切な腰痛ケアの理解を深め、看護スキルを高めることにより、他人には分からない「痛み」に悩まされる腰痛患者さんの治療満足度の向上に貢献したいと願っています。

セミナーの概要および開催予定は、以下のとおりです。

プログラム概要

1. 製品紹介および非ステロイド性鎮痛消炎剤（NSAIDs）概論
2. 腰痛患者の日常生活における自己管理（姿勢・動作、腰痛体操）
3. 整形外科領域における患者接遇教室（ANAラーニング インストラクター）

開催予定日および開催都市

4月 9日（土）	熊本市	5月28日（土）	仙台市
4月16日（土）	新潟市	5月28日（土）	さいたま市
4月16日（土）	京都市	6月 4日（土）	札幌市
4月23日（土）	広島市	6月 4日（土）	神戸市
4月23日（土）	秋田市	6月18日（土）	福岡県春日市
5月14日（土）	東京都千代田区	6月18日（土）	横浜市
5月14日（土）	大阪市	6月25日（土）	松山市
5月21日（土）	名古屋市	6月25日（土）	千葉市
5月21日（土）	郡山市		

ノバルティス ファーマと「腰痛」の関わり

1965年、スイスのチバ・ガイギー社（現ノバルティス ファーマ社）は、非ステロイド性鎮痛消炎剤のジクロフェナクナトリウム（一般名）を開発しました。本剤は1974年、「ボルタレン®錠」として世界に先駆けて日本で発売され、その後発売された「ボルタレン®サポ」「ボルタレン®SRカプセル」「ボルタレン®ゲル」とともに、30年間にわたり“日本の痛みを鎮める”のに貢献してきました。昨年には、患者さんのニーズに応えた新剤形の「ボルタレン®テープ」を発売。「ボルタレン®」ブランドは現在、世界約140カ国で販売され、世界で最も使われる非ステロイド性鎮痛消炎剤であり、世界的な標準治療薬として位置づけられています。

ノバルティス ファーマ株式会社について

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置く医薬品とコンシューマーヘルスの世界的リーダー、ノバルティスの医薬品部門の日本法人です。ノバルティスグループ全体の2004年の売上高は282億米ドル（約3兆507億円）、当期純利益は58億米ドル（約6,228億円）、研究開発費は42億米ドル（約4,544億円）でした。全世界で約81,400人の社員を擁しており、140カ国以上で製品が販売されています。

以上